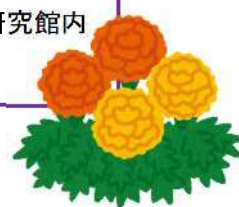




駒澤大学放射線同窓会

東京都世田谷区駒沢 1-1-1 駒澤大学第1研究館内

発行日: 令和7年4月20日



(巻頭言)

同窓会の復活

会長 森 清 光

日頃より同窓会活動にご支援いただいている皆様に深く感謝申し上げます。

2025年2月に発生した岩手県大船渡市での山林火災では、東日本大震災からようやく復興してきた地域の方々が再び被害に遭われました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

一昨年より同窓会活動も少しずつ再開しましたが、4年余り続いたコロナ禍の社会的影響は大きく、当同窓会だけではなく、他同窓会との会談でも分断されたコミュニティの回復には、まだまだ時間がかかるとの見解でした。

国際情勢では、ウクライナ・ロシア戦争、イスラエルでの紛争に加え、トランプ大統領就任による保護主義的な通商政策が各国間の連携に亀裂を生じさせるなど、目まぐるしい勢いで社会が変化しています。

国内情勢においても、インフレが進み、昨年度は過去最大の賃金引き上げがあったと報道される一方で、2024年度の診療報酬改定は非常に低調なものとなり、医療機関経営の厳しさが浮き彫りとなりました。最近の報道によれば、医療機関の約60%が赤字経営となり倒産件数も増加して、我々診療放射線技師の安定的な雇用維持の基盤が揺らぐ可能性が高まっています。

2010年頃から2025年問題と呼ばれる少子高齢化社会への対応問題が取り沙汰されていましたが、残念ながら解決の目処は立っていません。今年に入り各所で人材不足が顕在化したことによる賃上げの動きがある中、賃上げの恩恵を受けにくいエッセンシャルワーカーはその存在感を失いつつあります。

当同窓会は、開設から50年を超えて同窓会活動も時代とともに大きく様変わりしました。設立当初は、現在のようなデジタル技術によるサポートや文献なども少なく、会員同士で勉強会を行いながら技術の向上に努めてきました。また、CTやMRIなどの機器も導入施設が限られていたため、研修などを同窓会が主体となって実施していました。

現在では、デジタル化により診療放射線技師の技術が平準化されつつあり、採用において個人のスキルが重視される場面が減少しています。同窓会としても診療放射線技師として腕を磨くのみならず、医療のデジタル化や経営に強い人材育成を目的として活動してまいりました。

昨今では、ChatGPTのようなLLM（大規模言語モデル）の発展型である生成AIが急速に社会に浸透し、放射線関連業界においてもAI画像診断が保険収載されるなど大きな変化が生じています。今後、診療放射線技師の仕事は今までよりも速いペースで変容していくことが予想されます。

このような情勢において重要なのは活発なコミュニティの存在だと考えております。今までのように熟練技師が放射線撮影技術を教える場だけではなく、今後も技師としてのキャリアを目指す皆様には、情報交換の機会や最新技術の学習の場として同窓会を活用いただき、若い世代の皆様の活躍を後押しできればと考えております。同窓会が卒業生のみならず、現役学生や教職員の皆様との連携、新たな学びや活動の架け橋となり、次世代の診療放射線技師育成へ微力ながら力を添えられる役割を担えれば幸いです。先輩の経験や助言は後進にとって大きな励みとなることでしょう。今後も本会の活動に対して変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

役員募集

役員改選の時期であります、会則により立候補の公募をしています。

令和7年度、8年度の役員（会長 1名、副会長 2名）、任期1期2年間です。

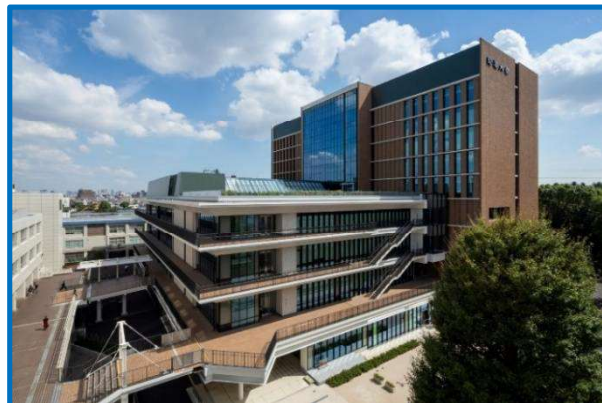
氏名（フリガナ）、卒業年度、勤務先、連絡先を、E-mail: mori@jc-ms.co.jp までお願いいたします。

詳細については、後日連絡いたします。締切りは、5月20日（火）といたします。

第50回放射線同窓会総会 開催のお知らせ

日時: 令和7年5月31日(土)

場所: 駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館301教場



総会: 15時15分～15時30分

- 1、令和6年度事業報告
- 2、令和6年度会計報告、会計監査報告
- 3、令和7年度事業計画案
- 4、令和7年度会計予算案
- 5、役員選挙

特別講演会: 15時45分～16時30分 「医療機関におけるITセキュリティについて」

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 情報システム部門 統括部長 田中智康先生(予定)

駒澤大学放射線ネットワーク 第2回キャリアセミナー: 16時30分～18時30分

～実習も通して考える診療放射線技師のキャリアパス～

講演: 岡 和夏那 先生 (国立病院機構仙台医療センター)

大塚 駿 先生 (ザイオソフト株式会社)

シンポジウム: 現役と学生を繋ぐ一問一答



終了後、種月館(3号館)食堂にて情報交換会を開催いたします。

参加申込は不要で、当日参加費 (社会人 3,000 円、学生 500 円、社会人大学院生 3,000 円) を申し受けます。

同窓会活動報告 1

令和6年11月24日(日)、晴天に恵まれた玉川校舎にて、大塚製薬・スフィード世田谷・喜多見児童館主催のスポーツフェスティバルが開催されました。

同窓会からの協力として医療健康科学部の名古先生・西尾名誉教授、そして同学部学生が参加者の方々の骨塩測定・血管年齢測定を行ない、約4時間で約60名の方々の測定を実施しました。

測定を受けた方々は、普段測定する事がない検査をして、測定結果から自身の健康状態を知り、定期的に測定して健康管理を行うことの重要性をご理解して頂きました。帰りがけには来年も検査を受けたいので、よろしくお願い致しますとのお言葉を頂戴しました。

同窓会費納入のお願い

同窓会は、皆様の納入される会費で運営されています。毎年支障なく同窓会活動が続けるため、**年会費 3,000 円**の納入を下記の方法でお願いいたします。

郵便振替

口座番号: 00130-5-176146

口座名: 駒澤大学放射線同窓会

銀行振込

口座番号: みずほ銀行世田谷支店 普通 1089370

口座名: 駒澤大学放射線同窓会

- ★ 郵便振替払込書は、全員に郵送しています。行き違いで納入いただいた際には何卒ご容赦ください。
- ★ 今後、郵便振替以外の納入方法も検討してまいります。
- ★ 恐れ入りますが、手数料は払込者にてご負担ください。

第49回放射線同窓会総会が開催される

令和6年6月8日(土)16時15分から、種月館3号館207教場で「第49回駒澤大学放射線同窓会総会」が、会員および準会員による多数の出席のもと開催されました。

第1号議案：令和5年度事業報告

第2号議案：令和5年度会計報告・会計監査報告

第3号議案：令和6年度事業計画案

- 1、研究会との連携事業で会員と学生等に同窓会活動の趣旨を広める。
- 2、海外の大学との連携（人材交流等）
- 3、同窓会組織の改革（若手人材の登用・規約改正等）
- 4、同窓会会員への広報・会費徴収方法変更
- 5、研究所との連携事業

第4号議案：令和6年度会計予算案

どの議案も滞りなく審議され、質疑応答後に賛成多数で承認されました。森会長より8月のタイの大学訪問について希望者募集の案内がありました。

総会終了後、同窓会の下部組織となった研究会の第1回学生向けセミナーを開催し、3名の卒業生が講演をしました。



同窓会活動報告2

2024年8月26日からタイ王国バンコクの2つの大学（KMPHT大学・Rangsit大学）の訪問と学生の為に、バンコクのJICA事務所を訪問しました。今回の訪問は志村教授（学科長・研究所副所長）を団長に教員2名（渡辺・村田先生）、OB4名、西尾名誉教授、森同窓会会長、2010年卒業生の遠藤氏、現在タイ王国チェンマイ大学にJICAから派遣されている2015年卒の熊谷氏が、現地の各大学やJICA等とのコーディネーターとして活動に協力を頂きました。

さらに、駒澤大学と学術協定を結んでいる麻布大学獣医学部山下教授にも参加して頂き、学生10名、総勢18名で訪問いたしました。今回の訪問目的は昨年と同様で学生間の交流、そして教職員間の親睦、さらに各大学のOB間の交流を継続することにあります。

27日のKMPHT大学訪問では、タイ放射線技師会会長のサラ先生が放射線学科の責任者として、様々な企画をご準備してくださいました。特に盛大に開催して頂いた晩餐会では現地の学生が我々の為に、沢山練習をされたという民族舞踊をご披露して頂きました。素晴らしい踊りで大変感動いたしました。

また、大学間で記念品の交換会が行われ、駒澤大学を代表して志村先生から記念品が贈与されました。また、同窓会からも森会長が代表してサラ先生夫妻の似顔絵をプレゼントさせて頂きました。

翌日28日には、Rangsit大学を訪問し、放射線関連の学内施設を見学させて頂きました。また、学生同士の勉強会や交流会を開催して頂き、親睦を深めて参りました。そして29日にはバンコクのJICA事務所を訪問して、現地におけるJICAの活動等をお聞きしました。今後も学生間の交流が継続して行く事を強く希望しております。充実したバンコク訪問となりました。



【休刊のお知らせ】

「同窓会だより」は、これまで会員の方、全員に郵送してまいりましたが昨今の資源高騰、郵便料金の値上げもあり、しばらく休刊することになりました。今後は、最新活動情報を大学同窓会のホームページで発信してまいります。

ホームページ：<https://www.komazawa-u.ac.jp/alumni/>



お願い

ご住所・ご勤務先等の変更の有る方は、お手数ですが下記用紙にご記入の上、駒澤大学事務室宛にFAX(03-3418-9545)又は郵送にてご連絡をお願い致します。

〒154-0012 世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学第1研究館内
駒澤大学放射線同窓会 FAX 03-3418-9545

ご記入日：

フリガナ				卒業年度	会員No.
氏 名					
新住所	〒				
自宅電話		Eメール			
勤務先名称					
勤務先住所	〒				
通信欄					

駒澤大学医療健康科学部 学事報告

医療健康科学部

令和6年度 卒業生：53名

- ・診療放射線技師国家試験合格者 49名（受験者 51名）
合格率 96.1%（全国平均 94.7%、新卒の全国平均 92.2%）
- ・第一種放射線取扱主任者合格者 21名

令和7年度 新入生：66名（令和7年4月4日現在）

- ・自己推薦入試 入学者 9名
- ・一般入試 T方式 入学者 28名
- ・一般入試 S方式 入学者 15名
- ・大学入試センター試験（前期） 入学者 1名
- ・大学入試センター試験（中期） 入学者 0名
- ・附属高校 入学者 8名
- ・指定校 入学者 4名
- ・スポーツ推薦 入学者 0名
- ・社会人 入学者 1名
- ・4年次編入 入学者 3名

大学院・医療健康科学研究科

- 令和6年度 修士終了者 7名、博士終了者 2名
- 令和7年度 修士入学者 13名、博士入学者 5名



新入教員の紹介

教授：井上優介先生（画像診断学・放射線安全）どうぞよろしくお願いいたします